



アクションプラン 2023を公表

構造改革の更なる加速

●水産業の資源管理の強化と流通改革による成長産業化

・海外輸出など増加する加工ニーズに対応した養殖ブリの産地加工施設の整備

・カキの水質浄化能力を活用した赤潮対策など災害からの復興に向けた入津湾の環境改善

・病害低減に向けた医薬品承認拡大やスマート技術開発による養殖ヒラメ生産構造の転換推進

・デジタル技術を活用した漁業実態の「見える化」による資源管理の精度向上

・高単価で定着性の高いキジハタの本格放流に向けた効果的な放流手法の確立



放流成果が期待される
キジハタ
(上)成魚、(下)種苗



スマート技術開発(自動給餌システム、赤潮被害防止システム)

生産性向上

●スマート水産業の実現

・スマート技術等省力化技術の開発・導入によるヒラメ養殖の生産性向上

・コロナ禍からの脱出に向けた販売対策の強化(パートナーシップ認定店による販路拡大)

・全国豊かな海づくり大会の開催に向けた県内の機運醸成

・種苗放流、資源管理、環境整備を一体的に行う新たな増殖モデルの構築

●新たな需要を獲得する戦略的な海外展開

・中国における輸出サポーター等と連携した養殖ブリ、養殖クロマグロ等県産魚の販路拡大

マーケットインの
商品づくりの加速



輸出、中国向けは軌道修正が必要か

元気で豊かな
農山漁村づくり

・藻場の持つ多面的機能の発揮に向けた整備・保全の推進

・第43回全国豊かな海づくり大会の成功に向けた取組の着実な実施

目標指標

指標名	(単位)	基準値 (※)	現状値 (R3)	目標値 (R6)
水産業産出額	(億円)	386	362	462
水産業新規就業者	(人)	57	76	80
認定漁業士	(人)	217	248	257
農林水産物輸出額	(億円)	15	36	57

※産出額(H25)、就業者(H22~26平均)、認定漁業士及び輸出額(H26)



豊かな海づくりへ向け
着実な前進を

・不法投棄ゴミの撤去や啓発活動の強化による漁港施設の適正管理推進

第42回全国豊かな海づくり大会開催

16日(土)・17日(日)の両日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ「守りぬく 光輝く 豊かな海」をテーマに、第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会が厚岸町の厚岸漁港特設会場で開催された。

主要行事である式典・行事及び海上歓迎・放流行事をはじめ、釧路市でも行われた関連行事「豊かな海づくりフェスタ2023」にも、道内外から多くの関係者が参加した。次年度に開催する本県からは、佐藤知事や中根組合長らが出席した。

式典行事では、天皇陛下のおことば、作品コンクール最優秀文の発表、稚魚等のお手渡し、漁業者メッセージ等に次いで大会決議が採択されたのち、北海道知事から大分県知事へ大会旗が引き継がれた。

海上歓迎・放流行事では、様々な漁業に従事する漁船による漁法紹介、マツカワとホツカイエビの稚魚の放流が行われた。「豊かな海づくりフェスタ2023」では、「北海道ブランド」を道内外に発信した。



次期開催県として挨拶に立った佐藤知事は「第1回大会の開催地である本県では、大会を契機に種苗放流や小型魚の漁獲規制などを積極的に実施し、40年以上が経過した現在も脈々と続いています。加えて、干潟を守る活動や海ごみ回収など、県民による環境保全活動も盛んに行われています。大分大会では、今も続く漁業者と県民の努力と挑戦の姿を全国に発信してまいります。おんせん県おおいたが誇る日本一の温泉に加え、関あじ・関さばといった海の幸など多様な食の魅力も満喫いただけるよう、県民一同、おもてなしの心を持って、皆様をお待ちしております」と力強くアピールした。



ホーバークラフト納入式 1番船 Baien お披露目

14年ぶりに県都大分市と大分空港を結ぶホーバークラフトの1番船「Baien」の納入式が9日、大分市の田ノ浦であった。製造者である英国グリフォン・ホーバーワーク社と納入先の大分県など数十名が出席した。



招待者や観光客らが見守るなか、1番船は田ノ浦ビーチに上陸した。従来より音が静かで、広い窓も印象的であった。

佐藤知事は「ホーバーに乗ること自体が観光の目的になる。別府湾の風景を楽しんで欲しい」と期待を込め挨拶した。

招待者は新船内に案内され、シートの座り心地や窓からの風景を確認した。操縦席も開放され、特殊な計器類や高い視野からの眺めなどに感心した。

現在、高速道路を使い1時間間を新しいホーバーは30分で結ぶとし、大きな経済効果も期待されている。

一方、かつてのホーバーが運行されていた時と比べ、漁業との関係も変化している。大分側の発着地が市の中心部に近く、漁船も出入港する西大分になったこと、別府湾のサワラ漁業が盛んになったことなどが上げられる。発着地となる大分地区、安岐地区はもとより、別府湾における漁船の操業の安全と、ホーバーの円滑な運行が両立するよう、万が一にも事故が起きないように十分な注意が必要だ。



海洋放出を開始 ALPS処理水

東京電力は8月24日、福島第1原発に貯まり続けるALPS処理水の海洋放出を開始した。廃炉が完了するまで約30年間続くとしている。

国は万全な対応を

全漁連の坂本雅信会長はコメントを公表。「海洋放出に反対であることは変わらない。この瞬間を目の当たりにし全国の漁業者の不安は増している。『漁業者に寄り添い必要な対策を取り続けることを、たとえ今後数十年に亘ろうとも全責任を持って対応する』とした岸田総理の約束を確実に履行し、国は漁業者をしつかり支えていただきたい」と万全の対応を要請した。

7月から香港とともに規制を強化してきた中国は、同24日から日本産水産物の輸入を全面停止すると発表した。坂本会長は西村経産大臣と電話で緊急会談し、国に以下の4項目を要請した。

- ① 中国による日本産水産物禁輸措置の全面撤廃
 - ② 国内外に向けての風評払拭対策の強化
 - ③ 国産水産物の内需拡大への取組強化
 - ④ 他地域への新規輸出拡大への取組強化
- 5日には、ALPS処理水対策として、追加予算207億円が予備費により措置されることが

閣議決定され、「水産業を守る」政策パッケージ総額1007億円が示された。

8日には、国会閉会中審査の参考人として坂本会長が出席し、国内消費の拡大などに国の後押しを求めた。また同日、ALPS処理水関係事業に係る説明も始まった。

適宜・的確な対策必要

本県は国の輸出重点品目「養殖ブリ」の産地に指定され、当漁協は本年度の完成を目指し新たな水産物加工処理施設の建設を進めている。しかし、併せて計画していた中国での販路開拓は、現時点で実施の見通しが立たない状況となっている。

中国の禁輸措置が長期にわたれば輸出への影響は計り知れないが、輸出先を失った水産物が国内に還流して市場価格を引き下げれば、すべての漁業関係者の経営に甚大な被害が及ぶと危惧される。当漁協も、「水産業を守る」政策パッケージをしっかり取り込み、適宜・的確に対応しなければならぬ。また、あらゆる機会を捉え、国政、県政等への提案や要望を行うこととしている。

ALPS処理水とは？

福島第一原発の建屋内にある放射線物質を含む水について、トリチウム以外の放射線物質を、安全基準を満たすまで浄化した水のこと。トリチウムについても国の定めた安全基準の40分の1未満になるう、処分する前に海水で大幅に薄める。安全基準を満たした上で、放出する総量も管理して処分するので、環境や人体への影響は考えられない。(経産省HPより)



多核種除去設備(ALPS)

「水産業を守る」政策パッケージ 総額1007億円【300億円基金、500億円基金、予備費207億円】

令和5年9月4日
農林水産省、経済産業省、復興庁、外務省

- ALPS処理水の海洋放出以降の一部の国・地域の輸入規制強化等を踏まえ、科学的根拠に基づかない措置の即時撤廃を求めていくとともに、全国の水産業支援に万全を期すべく、既に用意した800億円の基金による支援や東電による賠償に加え、特定国・地域依存を分散するための緊急支援事業を創設(3、4①②)する。
- 具体的に、以下の5本柱の政策パッケージを策定し、早急に実行に移すとともに、必要に応じて機動的に予算の確保を行い、全国の水産業支援に万全を期す。

1. 国内消費拡大・生産持続対策

- ① 国内消費拡大に向けた国民運動の展開(ふるさと納税の活用等)
- ② 産地段階における一時買取・保管や漁業者団体・加工/流通業者等による販路拡大等への支援(300億円基金の活用)
- ③ 国内生産持続対策(相談窓口の設置、漁業者・加工/流通業者等への資金繰り支援、出荷できない養殖水産物の出荷調整への支援、新たな魚種開拓等支援、燃油コスト削減取組支援)(300億円基金、500億円基金の活用等)等

3. 輸出先の転換対策

- ① 輸出減が顕著な品目(ほたて等)の一時買取・保管支援や海外も含めた新規の販路開拓を支援【予備費】
- ② ビジスマッチングや、飲食店フェアによる海外市場開拓、ブランディング支援【予備費】等

5. 迅速かつ丁寧な賠償

一部の国・地域の措置を受け輸出に係る被害が生じた国内事業者には、東京電力が丁寧に賠償を実行
(注) 今回の予備費による措置は、単年度事業として対応。

2. 風評影響に対する内外での対応

- ① 一部の国・地域の科学的根拠に基づかない措置の即時撤廃の働きかけ
- ② 国内外に向けた科学的根拠に基づく透明性の高い情報発信、誤情報・偽情報への対応強化
- ③ 販売促進・消費拡大に向けた働きかけやイベント実施、観光需要創出、小売業界の取引継続に向けた環境整備等

4. 国内加工体制の強化対策

- ① 既存の加工場のフル活用に向けた人材活用等の支援【予備費】
- ② 国内の加工能力強化に向けた、加工/流通業者が行う機器の導入等の支援【予備費】
- ③ 輸出先国等が定めるHACCP等の要件に適合する施設や機器の整備や認定手続を支援(既存予算の活用)

水産部門 販売品目(予定)一覧

県漁協(支店本店)

国見支店	たこ唐揚、たこめし、サザエ旨煮等
佐賀関支店	あじ、さば、ぶり類、タチウオ等
蒲江支店	緋扇貝、蒸し緋扇貝、水産加工品等
本店	冷凍マグロ、伊勢海老(活)、保冷剤等

県漁協(女性部)

佐賀関	昆布巻き、白身フライ、干物等
下入津	魚の干物、昆布、ブリカマ(冷凍)

県漁協(青年部)

宇佐	活締たい、ワタリガニ
くにさき	ヒジキ、アオサ、ポイルタコ(冷凍)
杵築	鮮魚
日出	えび、かに、たこ、たい、ぶり、あじ等

海洋科学高・商社

海洋科学高	マグロの油漬缶詰、おさかな小判
(株)桃太郎海苔	海苔、椎茸、温泉水他
本芳食品	ちりめん、いりこ、アジ開き等
(株)藤田商店	ちりめん、かえりちりめん、いりこ
(有)上野水産	ガザミの味噌汁、鰹かつ、イカ焼等

※販売品目については現時点での予定を掲載しています。荒天等の影響により掲載の品目が販売できない場合や、品目が変更となる場合があります。



昨年の開会式、秋晴れの下で

令和5年度大分県農林水産祭実行委員会(会長:佐藤樹一郎大分県知事)が書面により開催され、10月21日(土)~22日(日)の両日、別府公園会場において農業・林業・水産部門合同で開催されることが決まった。

水産部門では、県漁協の3支店、4青年部及び2女性部が特産水産物を販売するほか、県立海洋科学高と4商社も出展を予定している。また、来年の11月10日に開催が決まった「全国豊かな海づくり大会~おんせん県おおいた大会」のPRコーナーも設けられる。来場者に「大分の水産」をアピールしたい。

令和5年度 大分県農林水産祭 開催決定

10月21日(土)・22日(日) 別府公園で合同実施

令和5年度 大分県農林水産祭

「おおいた」 農業・林業・水産部門 合同開催

みのりフェスタ

Minori Festa 2023

10/21(土) 9:30~16:30
10/22(日) 9:30~15:30

会場: 別府公園 別府市野口原 (亀川漁港での開催はありません。)

※マイバッグをお持ちください

※今年度は中部中学校には駐車できません!(中部中学校からのシャトルバスもありません)

主催: 大分県農林水産祭実行委員会、大分合同新聞社
後援: NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、JRC九州大分放送
お問合せ先: 大分県地域農業振興課 TEL.097-506-3582

出展情報、駐車場の詳細はこちら >>>>
https://minori-festa.com/

令和5年度 大分県農林水産祭

おおいたみのりフェスタ

日時: 令和5年 10月21日(土) 9:30~16:30
10月22日(日) 9:30~15:30

場所: 別府公園 別府市野口原

別府公園周辺臨時駐車場(■部分)

- 開会式(終了後、もちまき実施予定)
- ふるさと産地直売コーナー(農産物等販売)
- ふるさとの食コーナー(郷土料理等提供)
- パンカフェ
- 畜産コーナー
➤県産牛串、県産豚肉アミ焼き
➤県産地鶏、鶏卵、蜂蜜等の販売
- 農業ふれあいコーナー
- 林業コーナー
➤木工品、家具、乾・生しいたけ等の販売
➤木工教室、チェンソーアート
➤木造ユニットハウス展示
➤ジビエ料理 (串焼き・バーガー・肉まん等の販売)
- 水産コーナー
➤漁協等による水産特産品(魚介類)の即売
➤全国豊かな海づくり大会PRブース

※体調が優れない等の場合は、ご来場をお控えください

第43回全国豊かな海づくり大会 ~おんせん県おおいた大会~ 協賛募集!

令和6年11月10日に大分県で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会~おんせん県おおいた大会~」の協賛金・物品の提供や協賛行事を広く募集しています。申込方法等、詳細はHPをご確認ください。

●開催期間 【協賛金・物品】令和5年7月3日(月)~令和6年7月末まで
【協賛行事】令和5年7月3日(月)~令和6年12月末まで

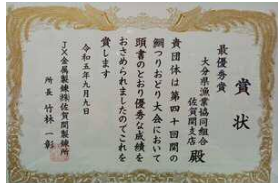
●協賛特典 大会公式HP等への企業名掲載、大会記念品の贈呈 他

●お問い合わせ先 全国豊かな海づくり大会推進室 TEL.097-506-3927

大分県 海づくり大会

関の鯛つり踊り大会

佐賀関支店が見事優勝



関の鯛つりおどり大会が9日の夕刻、佐賀関市民センターで開催された。コロナ禍で延期されていた第40回の会場には、4年ぶりに威勢の良い声が響いた。懸賞おどりに出場した県漁協佐賀関支店チームは、見事最優秀賞に輝いた。おどりに先立ち、恒例の「大漁おし初め大会」等も行われた。

第25回記念

ジャパン インターナショナル シーフードショー



大日本水産会主催のシーフードショーが8月23日から3日間、東京ビッグサイト東館（江東区有明）で開催された。本県からは県漁協の本店と中津支店、大入島オイスター、漁村女性グループめばるなどが出展した。漁協本店はかぼす養魚中津支店はひがた美人などを展示、宣伝した。来場者は3日間で23394名と前回（18820名）を大きく上回り活発な商談ができた。試食の評価も上々で、取引につながるものと期待される。

つるみ豊魚祭2023 東九州大漁祭を開催



24日、佐伯市の鶴見市場において、両祭典が合同開催された。豊魚祭は、全国で初めて同地で開催された「全国豊かな海づくり大会」を記念して始まり、コロナ禍で4年ぶり39回目。東九州大漁祭は6回目の開催となる。海の安全や豊漁を祈願し海に感謝するもので、佐藤県知事や中根県漁協長も来賓として臨席した。会場では地元の新鮮な魚の販売、特設ステージのイベント、魚のつかみ取りやクルージングなど様々な催しが盛りだくさんであった。

来賓挨拶をする佐藤知事



家族連れでにぎわう会場



ステージイベントも充実

漁船無事故「チャレンジ100」



大分支店組合員ら挨拶する中根組合長

大分支店で宣誓式

全組合員の積極的な参加を！

27日、県漁協大分支店において漁船無事故「チャレンジ100」の宣誓式が行われ、今年も100日間の海難事故防止の取組がスタートした。大分海上保安部の工藤防対官は、過去5年間の海難事故248件のうち約30%が漁船の事故と指摘。100日間の無事故を目指すと共に、安全操業で漁獲された地元の魚を広く県民に届けようと呼び掛けた。中根組合長は、「本運動の趣旨に賛同し、全支店・取次店が参加する。安全操業と地産地消につながる運動となることを希望する」と挨拶。県漁業管理課の倉橋参事が激励した。大分支店の組合員がチャレンジ宣誓し、大分海保、県及び県漁協の三者で安全操業への決意を新たにされた。

県議会 第3回定例会

水産関係質疑応答

県議会は19日に第3回定例会を開会、25日から3日間一般質問を行った。

守永信幸(県民クラブ・大分市)、澤田友広(公明党・大分市)、太田正美(自民党・由布市)、宮成公一朗(自民党・竹田市)が水産政策に係る質問をした。



守永信幸議員

水産団体との連携
について

【質問】守永議員

水産団体との連携の現状と課題や今後の取組は。

【答弁】佐藤農林水産部長

消費が低下している水産物について、県漁協と一体となって県外の販路開拓や県内の魚食普

及の取組を進めている。激変する社会情勢に対応し、マーケットニーズに柔軟かつ迅速に応えるかが課題。今後ともしっかりと連携し、水産業の振興に取り組む。



澤田友広議員

放置艇対策について

【質問】澤田議員

放置艇対策は南海トラフ地震等への備えとして非常に重要。これまでの取組状況と今後の方針は。

【答弁】三村土木建築部長

すべての港等で実態を調査し、所有者不明の船舶については簡易代執行や廃棄処分等を行った。この結果、国の調査による昨年10月時点の県内放置艇数は平成30年の4252隻から265隻まで減少し、減少数は全国1位、減少率は同2位と対策が進んだ。

265隻のうち県管理施設内は60隻であったが現在はその2隻まで減少しており、早期解消と再発の防止に努める。

農林水産業の災害復旧
について



太田正美議員

【質問】太田議員

6月末から7月上旬の梅雨前線による大雨は、中津、日田両市を中心に農林水産業に爪痕を残した。どのような方針で復旧に取り組むのか。

【答弁】佐藤農林水産部長

土砂の堆積で一時出漁不能となった小祝漁港では、応急工事を進め全ての漁船が出航可能となった。今後は、農林水産業の各分野で本復旧を進め、災害からの早期復旧・復興を目指す。



宮成公一朗議員

農林水産業の担い手
確保について

【質問】宮成議員
農林水産業の担い手確保について、妊娠・出産・子育て時の就業体制や、伴侶との出会いの場がない状況も踏まえ、どのように取組むのか。

【答弁】佐藤農林水産部長

若者や子育て世代の就業者の確保は非常に重要な課題。県は、就業研修から経営安定までの技術支援と併せ、定住・子育て等の生活面も地域とともに支援する。

関係機関が連携し、新規就業者に寄り添ったきめ細かな支援を行い、農林水産業の担い手確保に取り組む。

ご自宅の固定電話「迷惑電話防止機能」についてですか?

特殊詐欺は迷惑電話防止電話機で撃退!

「迷惑電話防止」機能のココがすごい!

電話が鳴る前に警告

不審電話がかかってきた時に「通話を録音する」と警告してくれる!

この通話は迷惑電話防止のために自動録音されます

詐欺犯人などの多くは、この警告メッセージを聞いて電話を切ります。

「迷惑防止ボタン」

を押すだけで簡単に設定できます!

※機種によってボタンの位置は異なります。イラストはイメージです。

電話が鳴っている時に注意喚起

電話に出る前に、電話を受ける前にアナウンスを流して注意を呼びかけてくれる!

迷惑電話の可能性がりますご注意ください

話している時に録音

電話に出ると通話内容を自動で録音してくれる!

「家族の絆」で特殊詐欺を撃退!

- おじいちゃん・おばあちゃんにすすめてください。
- 電話機買い換え等の際には是非ご検討を!
- 各市町村の電気店・家電量販店などで販売されています。

大分県・大分県警察

(この項目は県漁業管理課の要請を受けて掲載しています)

一大分県安全・安心まちづくり推進本部
TEL 097-534-2038

水 研 だ よ り

水産研究部で漁業学校が開校中！

大分県漁業への就業を希望する方に対して、漁業に対する知識や技術の習得等に関する研修を実施するため県漁協と県が連携して漁業学校を運営しています。

今年度は漁船漁業4名、魚類養殖業1名の計5名が研修中で、水産研究部のほか北部水産グループでも受け入れています。

このうち水産研究部管内の漁業学校生は2名(漁船漁業1名+魚類養殖1名)を対象に、当研究部の研究員が講師となり、7月19日に臼杵湾、8月4日に佐伯市蒲江入津湾の現地において赤潮調査技術の講義と実習を行いました。

また水産研究部において、8月16日にワクチン接種技術と魚類栄養学、8月21日に魚病診断技術と魚病学、9月11日にブリの人工種苗生産について担当の研究員がそれぞれ講義と実習を行いました。

今回の講義に参加した研修生は学習意欲が高く、熱心に意見交換を行っていました。

就業希望者が研修終了後、円滑に就業できるよう水産研究部もできる限り協力していきます。



赤潮調査実習



ワクチン接種技術実習



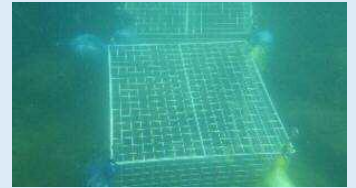
ブリ人工種苗生産講義

水産研究タイムリー情報

人工種苗を用いたテングサの藻場造成

【9月20日・北部水産グループ】

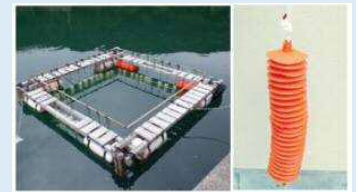
国東半島沿岸のテングサの復活を目指して、人工種苗を用いてテングサ藻場の造成を行いました。主枝長6cmに生長した人工種苗400本を括着させた建材ブロック8個を、食害防除のカゴで覆い、施肥剤を付けて、9月13日に国東市国東町重藤地先の海底に設置しました。6月にも国東町富来地先に同様の方法で種苗400本を設置しています。



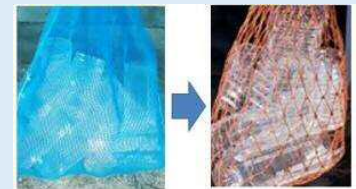
マガキ天然採苗の比較試験

【9月13日・水産研究部】

効率的にマガキの種苗を確保するため、「クベル(プラスチック製の皿を重ねた構造の採苗器)」と「空のペットボトル」を採苗器とした天然採苗の比較試験を佐伯市鶴見で実施しました。昨年度はペットボトルを収容した網袋の目合いが小さく、汚れやすかったため、今年は目合いを大きくし実施しました。今回はマガキの付着数だけでなく、他の生物の付着状況や付着したマガキの剥ぎ取りやすさなど作業性についても検討します。



採苗器を用いたイカダ クベル



前年度 今年度
ペットボトル採苗器

大学生のインターンシップを受入れ

【9月6日・水産研究部】

9月1日、大学生(水産系学部)3名がインターンシップで訪れました。研究施設や調査船「豊洋」の見学、加工や資源解析、種苗生産の実務の体験をしてもらいました。このインターンシップを通じて、水産業における県の役割の理解を深め、職業の選択肢の1つとして大分県の水産職を考えていただけたら幸いです。



○水産研究タイムリー情報は、大分県のHP9月掲載分から作成しました。

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/timelyjohou2017-3.html>

10.1 人事異動

支店の再編による事務統合や信
用事業譲渡に向けた体制整備に加
え、第6回理事会で承認された「全
国豊かな海づくり大会推進室」を
設置(別途任命)するため、10月1
日付け人事異動を行った。

【本店】

▽総務部 次長付杵築日出統合支
店長兼日出支店長(次長付杵築日
出統合支店長兼日出・別府支店長)
上野英志、総務課長兼大分支店長
(総務課長)西田淳一、総務課臨時
(新規採用)麻生絹世、経営管理課
長兼別府支店長(経営管理課長兼
信用事業部審査課長兼大分支店
長)小西英俊、経営管理課(総務
課)安部未由、漁政課係長(経営管
理課係長)中村景、漁政課臨時(新
規採用)松井沙希穂

▽経済事業部 販売課長(販売課
長補佐)橋本圭介、販売課(総務部
漁政課)西田和輝、購買課主任(販
売課主任)下郡祥平

▽信用事業部 審査課長兼中津支
店長(経済事業部販売課長兼中津
支店長)長野定勝

【中津支店】

総務・共済担当(復職)藤澤了代

【豊後高田支店】

総務担当臨時(新規採用)三木美里
【香々地支店】

総務担当臨時(新規採用)青柳美江

【日出支店】
業務・総務課(業務・総務課主任)大
塚真理子

【鶴見支店】

支店長(支店長代理)磯部幸二、信
用資金課専門員(支店長)山口和
彦、総務課係長(販売課係長)安部
武

【蒲江地区統合支店】

蒲江地区統合支店長(専門員)蒲
江地区統合支店長兼蒲江支店長)
山本君和

【蒲江・名護屋支店】

支店長(名護屋支店長)後藤一雄、
支店長代理(蒲江支店長代理)甲斐
昌彦、指導課長(蒲江支店指導課
長)山野清光、購買製水課長(蒲江
支店購買製水課長)後藤錦二、購
買製水課(名護屋支店業務課)山路
章太、購買製水課臨時(蒲江支店
製水課臨時)宮坂隆子、販売課長
補佐(蒲江支店販売課長補佐)後藤
浩二、販売課(蒲江支店販売課)松
本光矢、信用課主任(名護屋支店
業務課主任)高羽峰子、信用課臨
時(蒲江支店信用課臨時)後藤治代

ご活躍を祈念します！



豊かな海づくりに向け推進室設置を決定

第6回理事会 コンプラ遵守も要請

8月31日、5年度の第6回理
事会を開催した。
第1号議案「組合員の異動につい
て」では、准組合員への新規加入2
6人と譲渡加入2人、正組合員へ
の新規加入3人と資格変更5人
について承認した。
第2号議案「総会の部会の開催
について」では、共第27号に係る
総会の部会の開催について原案を
承認した。
第3号議案「漁協所有車両の
リースバックについて」及び第4号
議案「インボイス制度の対応につ
いて」は、いずれも原案を承認した。
第5号議案「委託契約書の締結
について」では、かぼす養魚の資材
の供給について県水産養殖協議会
と契約を結ぶとする原案を承認
した。
第6号議案「全国豊かな海づく
り大会推進室の設置について」で
は、第43回大分大会の円滑な運
営を図るための組織をつくり、

運営委定年検討開始・出資金決定事項再確認

第3回JFMB大分県会議・理事間で協議も

第6回理事会に先立ち、第3回
JFMBバンク大分県会議を開
催した。
まず「早期指導改善計画にかか
る四半期実績の進捗状況につ
いて」報告を受け、計画の下振れリ
スクへの対応等について確認した。
次いで、令和5年度不良債権
(第1回会議で選定した不良債権
上位20先)について、各債権者に
かかる取組方針を担当理事から
報告し、情報を共有し今後の方
向性等について協議した。

また、理事が集まった機会に、
懸案事項等について協議した。通
常総会で要望があった地区漁業
運営委員の定年の見直しについて
現在の全運営委員の年齢と次期

職員を任命(兼任)するとした原
案を承認した。

協議・報告事項では、①余裕金
の運用状況報告、②ALPS処理
水の海洋放出に伴う全漁連、当
漁協の対応及び③会計士監査の
日程について報告した。

また、最近YouTubeに当漁協
を誹謗する動画が流されるなど
看過できない事態が発生したこと
から、法的手段も辞さないことを
説明した。本件については、理事
会資料が悪用され守秘義務違反
の疑いもあり、コンプライアンスの
遵守を要請した。

②再加入時の出資金

脱退して5年以内で再加入する
場合、脱退時の出資金と同額を
受け入れることを条件に再加入
を認める。

③出資金の平準化

第1段階(正組合員10万円、
准組合員5万円に1年以内に引
き上げる)、第2段階(正組合員
3.5万円、准組合員1.5万円に5
年以内に引き上げる)で最低出資
金を引き上げ、第3段階で県下の
出資金平準化を図る。

④新規固定資産取得時地元負担金としての出資金

固定資産を取得する支店は、地
元負担金に見合った受益者の増
資を行う。

以上は既に理事会の決定事項で
ある。①だけしか実施されていな
い現状に鑑み、現理事会での再確
認を経て、着実に実行しなければ
ならない。

①新規加入時の出資金

正組合員10万円、准組合員5
万円を最低出資額とし、加入後
各支店とも他の組合員と同額ま
で増資して頂く。

HIMESHIMA 姫島村 HIMESHIMA 姫島村 HIMESHIMA 姫島村

姫島村

9/22 (金)
HIMESHIMAM FAIR



協賛：真直水産漁業同協組合
おおいた

HIMESHIMA 姫島村 HIMESHIMA 姫島村 HIMESHIMA 姫島村

KUNISAKI 国東 KUNISAKI 国東 KUNISAKI 国東

国東

9/22 (金)
KUNISAKI FAIR



協賛：南国東水産漁業同協組合
おおいた

KUNISAKI 国東 KUNISAKI 国東 KUNISAKI 国東

大分県産魚の日 9月は「国東&姫島フェア」



大分県漁協佐伯地区漁業運営委員長の清家皆一様は九月六日享年七十一歳でご逝去されました。生前のご功績を称えますとともに謹んでご冥福をお祈り致します。



大分県産魚の日、9月は第4金曜日(9/22)におさかなランド2店舗で「国東&姫島フェア」を開催。姫島産のクルマエビ、ヒジキ、国東産のマダコなどを販売した。50食限定で試食して頂いたマダコは、「旨味が強くてとても美味しい」と評判で、試食後に買い求める方が多く見受けられた。フェアだから高価でも購入するというお客様もあり、地消の契機として期待される。



サカナをたべれば
幸福が見えてくる

ウオメシ

ウオメシのネタが尽きてきた。サラメシならば、好きな蕎麦屋、カレーハウス、中華からイタリアンまでストライクゾーンが広いが、なかなか昼飯に魚となると限られる。というわけで、今回は記事で紹介した「漁船無事故チャレンジ100」の宣誓式の後にみんなで昼食を食べた「鳴門うどん」から、「ねぎとろ丼」1,100円。このメニューには丼とうどんのセットなるものが多く、ボリュームたっぷりだ。見回すと、作業服上下で若くてガタイの良いお兄さんが多い。単品のつもりで頼んだ「ねぎとろ丼」にも、うどんがついてきた。満腹!!

編集後記

朝晩に吹く風は涼しく、秋の訪れを感じさせるが、日中の暑さは異常だ。運動会の予行演習でも熱中症が多発していると聞く。本紙が発行される10月になっても、こんな日和が続くのだろうか。そうは言いながらもイベントの季節はやつてくる。コロナが5類に移行し、本号にも催事情報が満載だ。ホーバー1番船の納入式には参加させていただいた。英国からの出席者を前に、佐藤知事がにこやかに流暢な英語で挨拶されたのには驚いた。サンフランシスコの日本国領事やJETROニューヨーク事務所長などを歴任されているのだから当然なのだ。が、なんとも素敵なのである。ホーバーと言えば、円滑に運行されて県経済浮揚の一角を担い、県産水産物の消費拡大につながってほしい。一方、漁業者にとっては、操業の安全が確保されることが極めて重要だ。14年前に旧ホーバーが動いていた時と比べ、発着地の状況や別府湾での操業も変化している。万が一にも事故が発生しないよう、十分な注意が必要だ。全国豊かな海づくり北海道大会が終わり、いよいよ大分にバトンが渡された。県漁協も体制を整備し、大会の成功に向け取り組む。ALP S処理水の海洋放出など厳しい社会情勢に直面しており、役職員の一致団結した対応が必要だ。